

第 3 章 財 務

第3章 財 務

第1 収益的収支

1 医業収益

医業収益は59,210,454千円で、前年度に比べ1,179,207千円(▲2.0%)の減となった。

これは、令和6年4月に加茂・吉田病院が指定管理者による運営に移行したことにより患者数が減少したこと等によるものである。

2 医業費用

医業費用は74,925,051千円で、前年度に比べ780,717千円(▲1.0%)の減となった。

これは、令和6年4月に加茂・吉田病院が指定管理者による運営に移行したことにより給与費や材料費等の費用が全般的に減少したことによるものである。

3 純損益

費用の減少を上回る収益の減少があったことから、当年度の純損失は4,603,236千円となり、前年度に比べて2,291,577千円悪化した。

4 要素別費用(看護専門学校及び局本庁の収益費用を除く。)

収益(100円)当たりの要素別費用は、附表44のとおり100円の収益を実現するのに129.1円の原価を要したことになる。

また、患者1人1日当たりの要素別費用は、附表45のとおり、49,441円と前年度に比べ4,408円増加している。

要素別費用

附表44 収益(100円)当たり要素別費用

(単位:円)

年度	区分	給 与 費	医 療 消 耗 材 備 品 費	医 療 消 耗 材 備 品 費	給 食 消 耗 材 備 品 費	給 食 消 耗 材 備 品 費	研 究 研 修 費	資 産 減 価 耗 却 費	医 業 外 費 用	特 別 損 失	計
	R1	62.2	32.6	0.8	16.1	7.7	2.9	0.6	122.9		
	R2	59.6	30.3	0.7	15.8	7.4	3.0	1.3	118.1		
	R3	57.8	30.5	0.7	16.1	7.7	2.9	0.0	115.7		
	R4	59.5	31.4	0.7	17.4	8.6	3.1	0.0	120.7		
	R5	59.8	33.8	0.8	18.3	8.5	3.3	0.0	124.5		
	R6	61.6	34.7	0.8	17.8	8.7	5.5	0.0	129.1		

(注) 看護専門学校及び病院局本庁分を除く。
 (注) 28年度より旧六日町、小出病院分を除く。

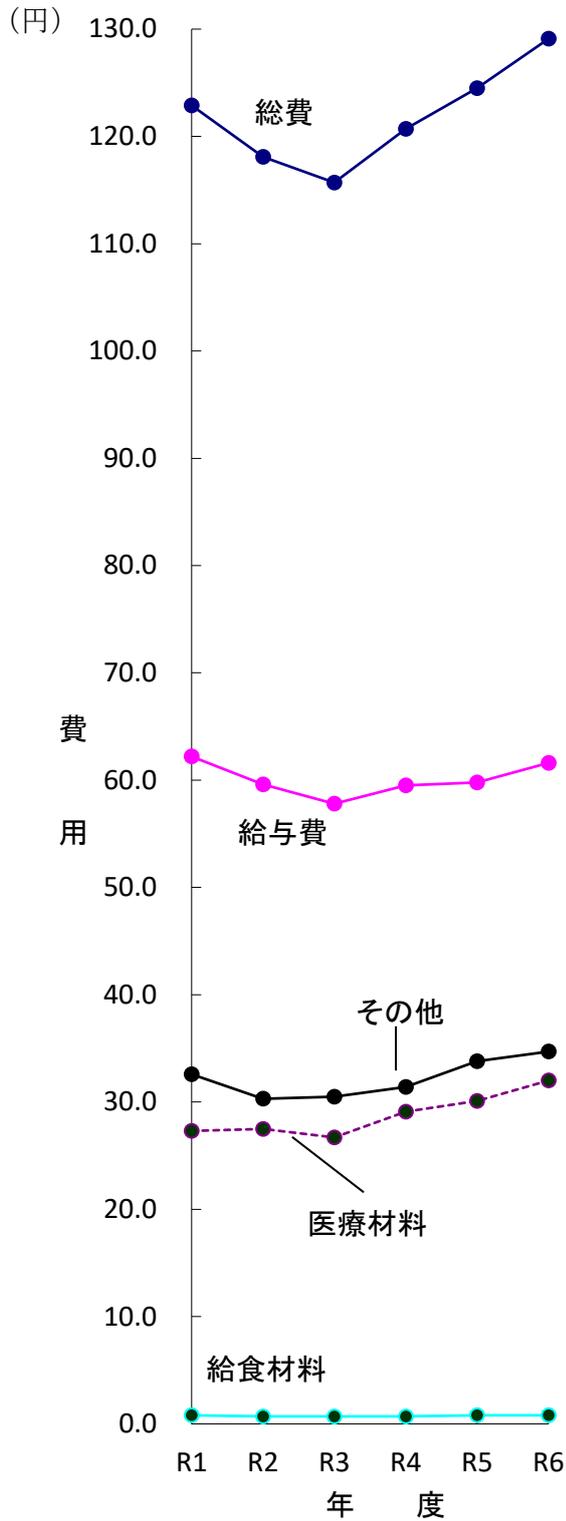
附表45 患者1人1日当たり要素別費用

(単位:円:%)

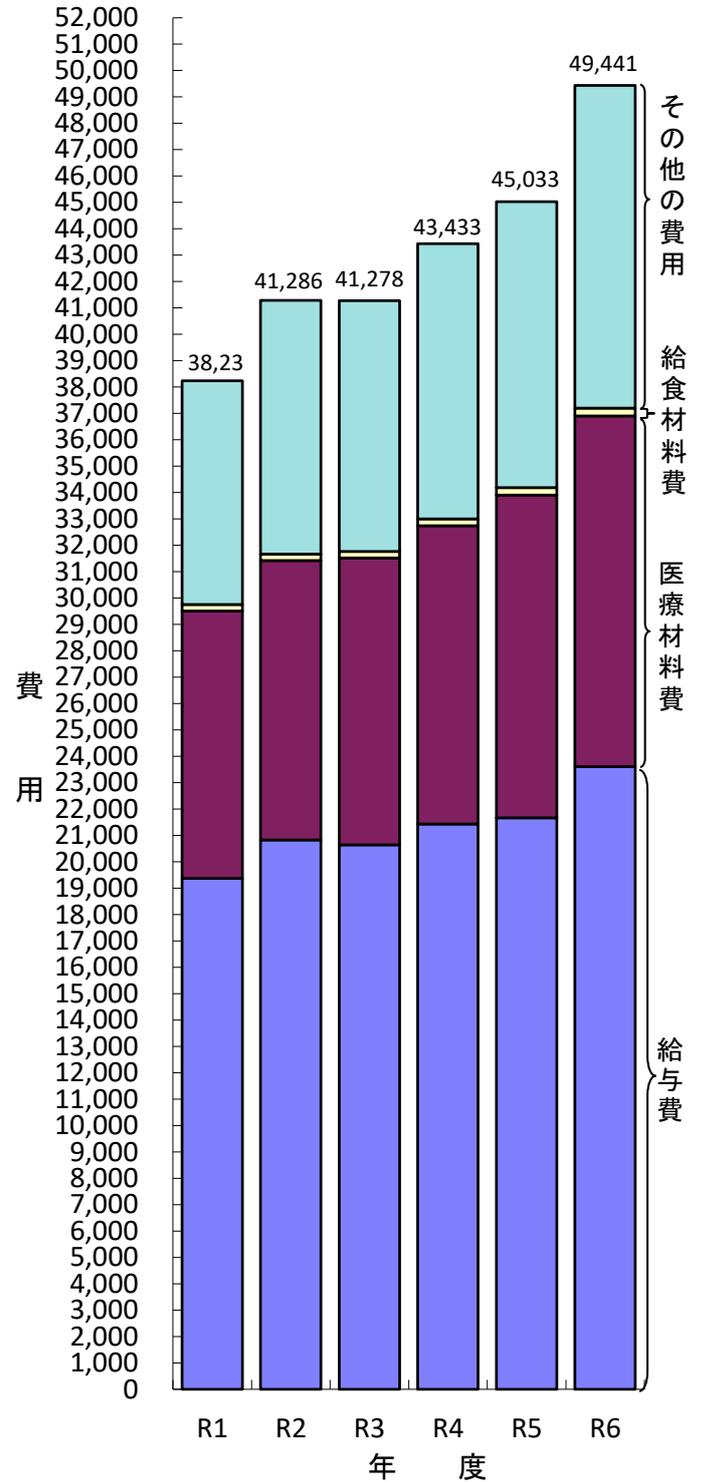
年度	区分	給 与 費	医 療 消 耗 材 備 品 費	医 療 消 耗 材 備 品 費	給 食 消 耗 材 備 品 費	給 食 消 耗 材 備 品 費	研 究 研 修 費	資 産 減 価 耗 却 費	医 業 外 費 用	特 別 損 失	計	前 増 減 率 (△ 対)
	R1	19,373	10,136	243	5,019	2,405	887	172	38,235	4.2		
	R2	20,828	10,596	247	5,480	2,600	1,064	471	41,286	8.0		
	R3	20,639	10,881	245	5,724	2,764	1,025	0	41,278	0.0		
	R4	21,439	11,306	262	6,229	3,088	1,109	0	43,433	5.2		
	R5	21,670	12,231	282	6,585	3,062	1,203	0	45,033	3.7		
	R6	23,606	13,293	302	6,784	3,330	2,126	0	49,441	9.8		

(注) 看護専門学校及び病院局本庁分を除く。

図表10 収益(100円)当たり要素別費用



図表11 患者1人1日当たり要素別費用



第2 資本的収支

資本的収入は、前年度に比べ総額2,485,214千円(31.9%)の減となった。
 主なものは、企業債の減である。

資本的支出は、前年度に比べ総額1,452,093千円(14.9%)の減となった。
 主なものは、建設改良費の減である。

附表46 資本的収支年度別比較

(単位：千円・%)

科 目	R2		R3		R4		R5		R6	
	金額	前年比								
資										
本										
的										
収										
入										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資										
本										
的										
支										
出										
資					</					

第3 資産・負債および資本

令和6年度末における資産総額は71,922,090千円となり、前年度に比較して9,222,221千円(11.4%)減少した。減少の主なものとは流動資産5,585,509千円(34.6%)である。

負債は、総額80,134,261千円となり、前年度に比較して4,691,747千円(5.5%)減少した。減少の主なものとは固定負債4,613,275千円(8.5%)である。

資本は、総額△8,212,171千円となり、前年度に比較して4,530,474千円(123.1%)減少した。減少は剰余金4,530,474千円(13.9%)である。

また、最近5年間の資金運用状況は附表47のとおりである。

附表47 資金運用表

(単位:円)

区分		年度	R2	R3	R4	R5	R6
長期	源	固定負債の増加	1,166,481,046	1,679,681,200			
		繰延収益の増加	1,572,629,791	1,005,827,314	946,971,698	1,148,601,387	778,508,330
		資本金の増加				0	0
		剰余金の増加	435,920,203	1,802,807,124			
		固定資産の減少			1,083,453,054	1,472,984,757	3,636,712,574
		計 A	3,175,031,040	4,488,315,638	2,030,424,752	2,621,586,144	4,415,220,904
資金	使	固定資産の増加	1,359,856,152	1,564,025,510			
		固定負債の減少			789,494,815	2,000,967,266	4,613,275,041
		繰延収益の減少				0	0
		資本金の減少			389,640,584	2,193,550,661	4,530,474,328
		剰余金の減少			1,179,135,399	4,194,517,927	9,143,749,369
		計 B	1,359,856,152	1,564,025,510	1,179,135,399	4,194,517,927	9,143,749,369
純運転資本の源泉増額		A - B	1,815,174,888	2,924,290,128	851,289,353	△ 1,572,931,783	△ 4,728,528,465
短期	源	流動負債の増加			722,213,181	2,310,487,977	
		流動資産の減少	3,605,836,580				5,585,508,882
		計 C	3,605,836,580	0	722,213,181	2,310,487,977	5,585,508,882
資金	使	流動資産の増加		1,361,437,346	1,573,502,534	737,556,194	
		流動負債の減少	5,421,011,468	1,562,852,782			856,980,417
		計 D	5,421,011,468	2,924,290,128	1,573,502,534	737,556,194	856,980,417
純運転資本の使途増減		D - C	1,815,174,888	2,924,290,128	851,289,353	△ 1,572,931,783	△ 4,728,528,465

第4 一般会計繰入金

1 収益的収入繰入金

収益的支出に充てるため、一般会計から繰入を受けた額は、附表48のとおり総額11,407,406千円で、前年度に比べ167,149千円（前年度比+1.5%）の増となった。これは、特殊病院運営経費や高度医療不採算病院の繰入金が増加したことが主な理由である。

附表48 一般会計繰入金(収益的収入)一覧表

(単位:千円)

一般会計 支出区分	項 目	R2	R3	R4	R5	R6
病院事業 運営 事業 費	救急医療	1,371,689	1,311,598	1,199,346	1,127,363	762,220
	集団検診	164,964	181,514	185,482	180,553	223,856
	不採算地区病院	1,810,717	1,591,933	1,667,050	2,252,848	2,454,257
	特殊病院	1,592,077	1,772,622	1,708,466	1,586,853	2,032,233
	高度医療不採算	744,608	798,954	824,193	972,636	1,243,383
	起債利息	652,728	603,962	540,342	481,670	284,511
	その他	3,815,604	3,735,749	4,447,811	4,328,608	4,036,417
	がん研究費	14,578	14,578	14,578	14,578	14,578
	小 計	10,166,965	10,010,910	10,587,268	10,945,109	11,051,455
		看護師養成費	299,573	273,180	325,951	282,790
合 計		10,466,538	10,284,090	10,913,219	11,227,899	11,396,929
防疫 対策費	感染症予防費	12,418	13,386	12,390	12,358	10,477
繰入金総計		10,478,956	10,297,476	10,925,609	11,240,257	11,407,406
病院事業 貸付金	運転資金借入金	0	0	0	0	0
総 合 計		10,478,956	10,297,476	10,925,609	11,240,257	11,407,406

2 資本的収入繰入金

資本的支出に充てるため、一般会計から繰入れを受けた額は、総額3,594,221千円で、前年度に比べ、496,776千円(12.1%)の減となった。

なお、一般会計から建設改良資金(無利子)の借入れは行わなかった。

附表49 一般会計繰入金（資本的収入）一覧表

(単位：千円)

一般会計 支出区分	項 目	R1	R2	R3	R4	R5	R6
病 院 事 業	施設整備費	232,258	243,093	129,233	199,817	167,428	220,846
	起債元金	3,061,317	3,114,954	3,335,584	3,531,539	3,835,766	3,372,829
	その他				78,645	86,611	
	小 計	3,293,575	3,358,047	3,464,817	3,810,001	4,089,805	3,593,675
助 成 費	看護師養成費	38,011	3,340	1,187	1,466	1,192	546
合 計		3,331,586	3,361,387	3,466,004	3,811,467	4,090,997	3,594,221
繰 入 金 総 計		3,331,586	3,361,387	3,466,004	3,811,467	4,090,997	3,594,221
病院事業 貸付金	建設改良等 借入金						
総 合 計		3,331,586	3,361,387	3,466,004	3,811,467	4,090,997	3,594,221

第5 企業債借入及び償還状況

1 企業債借入状況

建設改良費の財源に充てるため、総額1,696,400千円の借り入れを行ったが、その内訳は次のとおりである。

(単位：千円)

区分	事業名	借入先	借入金額
繰前 越年 分度	病院増改築事業等	地方公共団体金融機構	157,300
	医療器械等整備事業	(株)第四北越銀行	90,200
	小計		247,500
当 年 度 分	病院増改築事業等	地方公共団体金融機構	38,100
	施設整備事業	地方公共団体金融機構	201,900
	医療器械等整備事業	(株)りそな銀行	1,208,900
	小計		1,448,900
合計			1,696,400

附表50 企業債借入の年度別推移

(単位：千円)

用途	借入先	R2	R3	R4	R5	R6
建設 改良 事業	財務省					
	地方公共団体金融機構	257,900	925,200	1,134,200	1,388,700	397,300
	第四北越銀行	4,372,100	252,000			90,200
	第四銀行					
	北越銀行					
	大光銀行	832,800				
	あおぞら銀行		4,419,600			
	りそな銀行			3,013,000	2,312,400	1,208,900
SBI新生銀行			133,400			
合計		5,462,800	5,596,800	4,280,600	3,701,100	1,696,400

附表51 建設改良費の企業債依存度

(単位：千円)

区 分	R2	R3	R4	R5	R6
建設改良費 A	6,391,147	6,151,251	4,677,179	4,192,924	2,067,836
企業債 B	5,462,800	5,596,800	4,280,600	3,707,100	1,696,400
B/A×100 (%)	85.5	91.0	91.5	88.4	82.0

2 企業債償還状況

借入企業債の償還及び未償還の状況は、附表52のとおりである。

附表52 企業債償還及び未償還残高の年度別推移

(単位：千円)

用 途	借入先	R2		R3		R4		R5		R6	
		償還高	未償還高								
建設改良 事業債	財務省	2,327,526	19,814,857	2,390,391	17,424,466	2,412,775	15,011,691	2,168,683	12,843,007	2,143,842	10,699,165
	金融機構	550,173	22,477,701	694,142	22,708,759	732,163	23,110,796	808,995	23,595,602	893,692	23,099,210
	第四北越銀行	1,476,420	10,597,851	1,473,397	9,376,454	1,592,696	7,783,758	1,376,939	6,486,519	1,381,039	5,195,680
	第四銀行										
	北越銀行										
	大光銀行	264,801	2,018,652	280,642	1,738,010	303,347	1,434,663	262,278	1,187,585	263,064	924,521
	あおぞら銀行				4,419,600		4,419,600	883,920	3,535,680	883,920	2,651,760
	りそな銀行						3,013,000		5,325,400	602,600	5,931,700
	SBI新生銀行						133,400		133,400	26,680	106,720
	小 計	4,618,920	54,909,061	4,838,572	51,247,689	5,040,981	47,340,908	5,500,815	53,107,193	6,194,837	48,608,756
公営企業 債	第四北越銀行										
	大光銀行										
	小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	4,618,920	54,909,061	4,838,572	51,247,689	5,040,981	47,340,908	5,500,815	53,107,193	6,194,837	48,608,756	

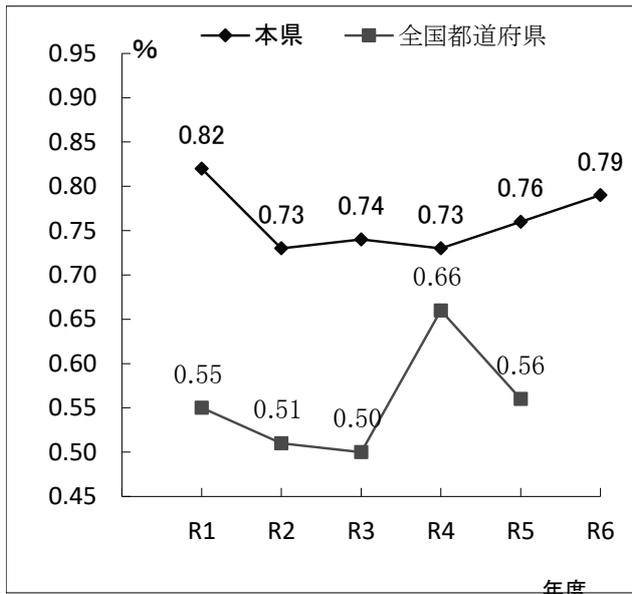
第6 主要財務比率

6年間の主要財務比率は附表53のとおりである。このうち主な比率についてみると、総資本回転率(図表A)は前年度に比べ0.03ポイント改善した。

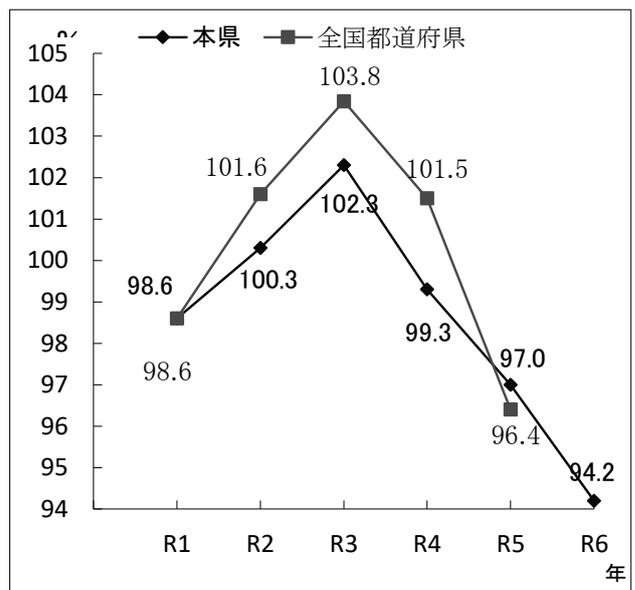
収益、費用の関連比率では、経常収益対経常費用比率(図表B)は2.8ポイント下降し、医業収益対医業費用比率(図表C)は1.2ポイント下降した。

企業の支払い能力を示す流動比率(図表D)は前年度に比べ28.1ポイント下降した。また、現金比率は29.7ポイント下降した。

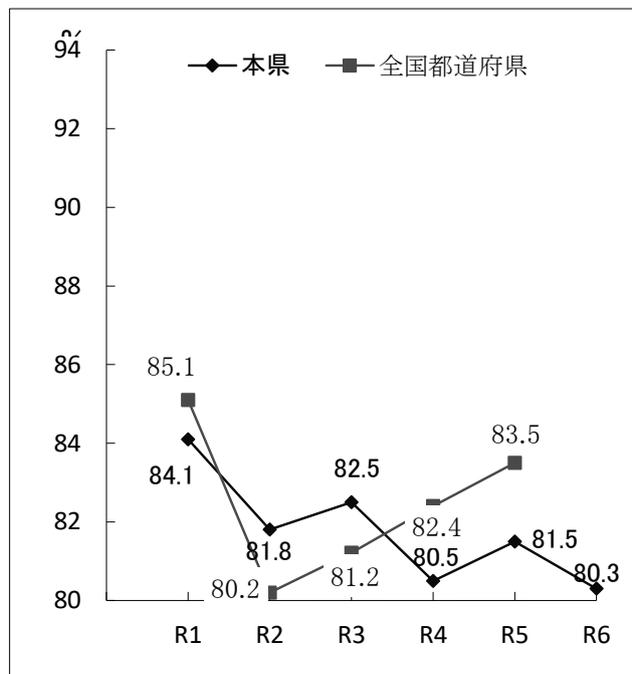
(図表A) 総資本回転率の推移



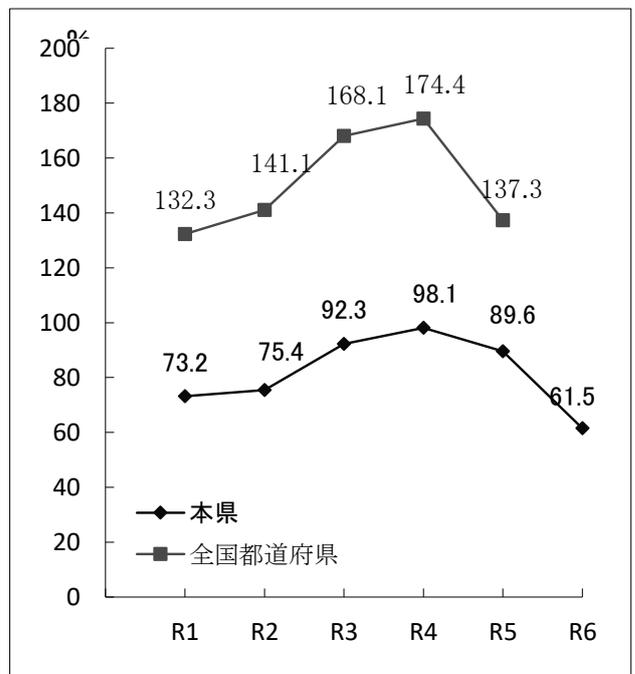
(図表B) 経常収益対経常費用比率の推移



(図表C) 医業収益対医業費用比率の推移



(図表D) 流動比率の推移



附表53 主要財務比率表

区 分	算 式	R1	R2	R3	R4	R5	R6
総資本回転率	$\frac{\text{医 業 収 益}}{1/2(\text{期首} \cdot \text{期末総資本})}$	0.82	0.73	0.74	0.73	0.76	0.79
固定資産回転率	$\frac{\text{医 業 収 益}}{1/2(\text{期首} \cdot \text{期末固定資産})}$	1.00	0.88	0.88	0.89	0.94	0.95
流動資産回転率	$\frac{\text{医 業 収 益}}{1/2(\text{期首} \cdot \text{期末流動資産})}$	4.64	4.05	4.49	4.09	3.69	4.22
貯蔵品回転率	$\frac{\text{貯 蔵 品 払 出 額}}{1/2(\text{期首} \cdot \text{期末貯蔵品})}$	72.3	67.9	64.0	60.5	59.4	57.4
未収金回転率	$\frac{\text{医 業 収 益}}{1/2(\text{期首} \cdot \text{期末未収金})}$	6.4	5.9	5.8	5.6	5.8	6.0
経常収益対 経常費用比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100(\%)$	98.6	100.3	102.3	99.3	97.0	94.2
医業収益対 医業費用比率	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100(\%)$	84.1	81.8	82.5	80.5	81.5	80.3
企業債償還元金対 減価償却費比率	$\frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{減価償却費}} \times 100(\%)$	203.5	205.0	226.1	207.7	247.0	258.3
固定資産対 長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金+剰余金+評価差額等+固定負債+繰延収益}} \times 100(\%)$	110.0	106.6	101.7	100.4	106.8	112.0
流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100(\%)$	73.2	75.4	92.3	98.1	89.6	61.5
当 座 比 率	$\frac{\text{現金預金}+(\text{未収金}-\text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100(\%)$	71.1	72.6	88.1	94.4	86.2	57.9
現 金 比 率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100(\%)$	27.2	12.3	19.0	24.6	29.8	0.1

(注) 本表は、地方公営企業年鑑(総務省編集)数値を用いた。従って、医業収益には地方公営企業法第17条の2第1項第1号の他会計負担金(救急医療、集団検診等の経費)が含まれている。